

おたより (2009年12月発行)

高齢社会をよくする女性の会・広島

〒730-0051 広島市中区大手町2丁目5-11-204

連絡先：電話(082)245 1250 (月・水 10:00~17:00)

12

月もいよいよ残りわずかな日となり、2009年のカレンダーも最後の1枚になりました。

政権交代の荒波や新型インフルエンザ旋風に戦々恐々?!の年越しになりそうな気配ですが、皆様におかれましては、新たな年を迎える心の準備はお出来になりましたでしょうか?

この新風、風向きによっては日本丸を転覆させかねない危うさあり。そこで私たち一人一人が自らの立ち位置をしっかりとせねばと、来年も学ぶ機会を多く持ちます。是非お聴き逃しのないよう、今から来年の新しいメモ帳やカレンダーに予定を書き込んでいてくださいね。

年明け早々1月17日(日)の「知っとく!納得!!ツボ講座」のご案内

3月7日(日)の「おひとりさまの老後~その後」と題した上野千鶴子さんの講演会のおしらせです。

11月29日例会報告

(話題提供者)

(1)暮らしの中の助け合い

~「仕事づくり」のお話し~

助け合いのワークショップ体験

.....名雪君子さん

[NPO法人 さわやかあ広島 代表]

今から15年前、名雪さんがまだ50代の入り口の頃の話です。NHKの放送で堺市の佐藤さんの話を聞かれたところからがこの暮らしの中の助け合いという「仕事づ

くり」の始まりでした。

物静かな口調で話されるのですが、その話にいつの間にか引き込まれ、人との出会いや助け合いの面白さが伝わってきました。

名雪さんの資料に書かれた言葉や、話された内容を書き出してみました。

最初は、一人の人の思いから

「何か私たちにできることはないかしら」との思い

その思いを伝える人と出会う。

10人に声をかけて4人が集まる三人集まれば充分ではないが、何とか船出はできる。

助け合いをするグループを考えています。関心のおありの方へ
(リビングに掲載)

22件の問い合わせ、内20人集合呼びかけを聞いてもらえそうなところを探す

サービスを受ける受け手を提供者の近くで探す。

一部屋をとりあえず提供できるか(拠点づくり)

一部屋と電話一本あればサービス(助け合い)は、開始できる。

「助けてあげる」ではなく「助けていただく」側に回ることが最優先。

打ち込む作業ではない。サービス提供は、「家族の7割しかできません」と伝える。

「人のつながりが第一!」と言われた意味がとてもよく分かりました。

助け合いのワークショップも、ゲーム感覚で楽しみました。(文責 薬真寺)

